

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

|                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリ                        |
| 2. 体験した事例の名称    | 救出完了後の撤収作業時のヒヤリハット体験       |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 誤った手順の撤収作業をしてしまったこと。       |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 各資器材の撤収に気を取られ、撤収順序を間違えたこと。 |

【体験した事例の直接的な原因について】

.....

|                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の実行に問題があった。 |
|------------------|---------------|

【体験した事例について】

.....

|                                      |                          |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1. 発生日時                              | 平成 21 年 2 月 17 日 午後 3 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                         | 晴                        |
| 3. 発生した活動現場                          | 屋内：倉庫内                   |
| 4. 体験した事例の種類                         | 他人が、回答者を負傷させた。           |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）      | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。    |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）         |                          |
| 7. 事例体験時の活動                          | 救助撤収、 [ ]                |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか         | 資機材準備、                   |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの<br>程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。                 |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                      |                                                                             |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者A                | 年齢[ 21 ]歳、 勤続年数[ 3 ]年、 現場経験年数[ 1 ]年、 階級[ 消防士 ]、<br>同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 隊員 ] |
| ○当事者B                | 年齢[ 27 ]歳、 勤続年数[ 4 ]年、 現場経験年数[ 4 ]年、 階級[ 消防士 ]、<br>同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 隊員 ] |
| ○当事者C                | 年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ],<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]                   |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |                                                                             |

## 1 1. 事例発生の経過。

|       | 誰(何)が   | なにをした                                         | その他・備考など |
|-------|---------|-----------------------------------------------|----------|
| 経過 1  | 当事者 A・B | 倉庫内で救助事案が発生したので出動                             |          |
| 経過 2  | 〃       | 現場到着                                          |          |
| 経過 3  | 〃       | フォークリフトに車輪止めをし、大型油圧救助器具マット型空気ジャッキを使用して救助にあたる。 |          |
| 経過 4  | 〃       | 救出完了                                          |          |
| 経過 5  | 当事者 B   | 撤収作業にとりかかる。車輪止めを取ってからマット型空気ジャッキの空気を抜いてしまう。    |          |
| 経過 6  | 〃       | 空気を抜くとフォークリフトが一気に前に動いてしまう。                    |          |
| 経過 7  | 当事者 A   | フォークリフト前方にいたら轢かれて大事故になっていた。                   |          |
| 経過 8  |         |                                               |          |
| 経過 9  |         |                                               |          |
| 経過 10 |         |                                               |          |

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

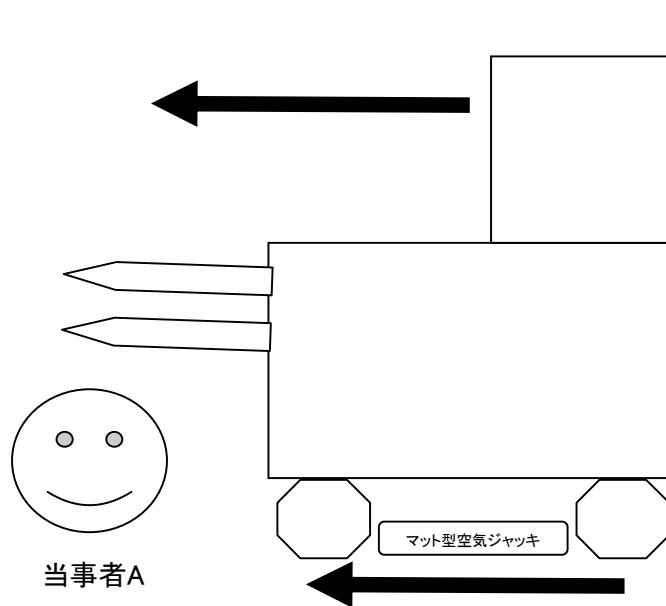
k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

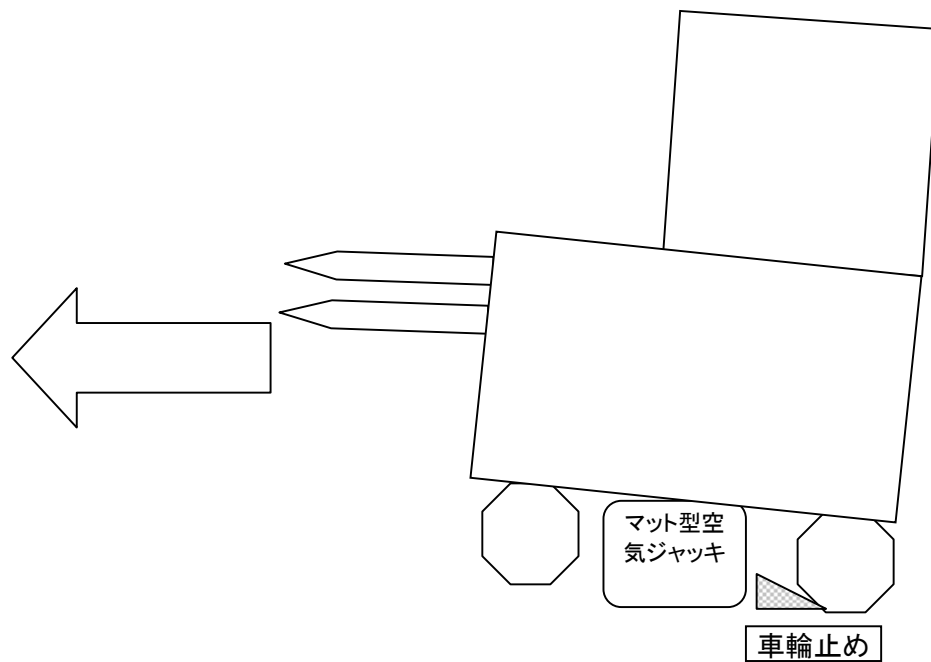
l. その他の理由があった。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|

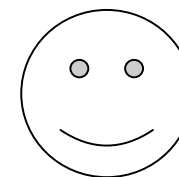


当事者A

車輪止めを撤収後にマット型空気ジャッキの空気をぬいたため傾いていたリフトが一気に前方に動いた。  
リフト前にいてたひかれて大事故になっていた。



車輪止め



当事者B  
撤収作業で車輪止めをとってしまう